み品川区議会だより

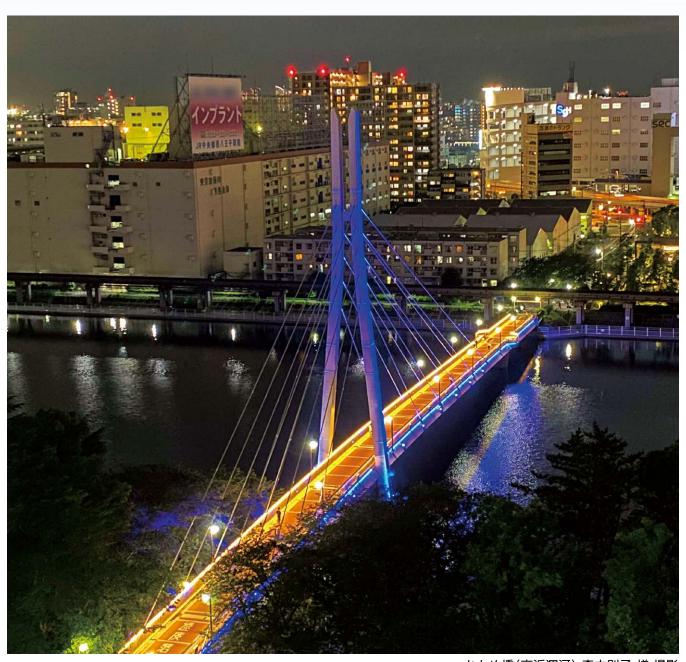


第282号

発行/品川区議会 〒140-8715 東京都品川区広町2丁目1番36号 電話 03-5742-6810(直通) Fax 03-5742-6895



令和2年(2020年)8月27日発行 品川区議会ホームページ https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/



かもめ橋(京浜運河) 森本則子 様 撮影

令和2年第2回定例会

医療の最前線で新型コロナウイルス感染症に立ち向かう医師看護師等、医療従事者の皆さまに心より感謝申し上げます。

品川区においても多くの医療関係者等に対して感謝の気持ちを表すとともにエールを捧げるため、橋を青色で 彩る「ブルーライトアップ」を実施しています。 込品川区議会だより

過去最大!

プレミアム率30%の区内共通商品券を発行しました

【補正額】1 億 6,421 万 7,000 円 【事業費】2 億 8.176 万 2.000 円

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた区内商店街における消費を喚起する ため、プレミアム率 30%の区内共通商品券を発行しました。

例年は春・秋の2回、プレミアム率10%の区内共通商品券を各3億円発行しておりますが、今回のプレミアム率は30%で、発行総額10億4千万円は過去最高となります。(令和元年秋は消費税増税のためプレミアム率10%で5億円発行しました。)

※販売は事前申込制ですが、7月25日で受付を終了しております。

品川区内

共通商品券 歓迎の店 品川区の約2,000 (大型店は除く) のお店および都内提携タクシー6社でご利用になれます。



児童・生徒1人につき1台タブレット端末を配付します

【補正額】14億4.475万6,000円

文部科学省が教育のICT 化を推進するために打ち出した「GIGAスクール構想」の 方針により、児童・生徒1人につき1台タブレット端末を配付します。

昨年末打ち出されたGIGAスクール構想は、当初5年間の計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、今年度中に端末を配付することとしました。

GIGAスクール構想とは



児童・生徒向けの1人1台端末と、高速 大容量の通信ネットワークを一体的に整 備し、多様な子どもたちを誰一人取り残 すことなく、公正に個別最適化された創 造性を育む教育を、全国の学校現場で持 続的に実現させる構想です。



議案審議

- 令和2年第2回定例会 -

品川区のこのようなことが 決まりました

会期14日間:令和2年6月25日~7月8日

今回審議した議案等は

区長提出議案…17件 議員提出議案…1件 請願・陳情…24件 計42件 **上記のうち、主な議案を以下のとおりご紹介します。

新型コロナウイルス感染症拡大により生活に多大な影響を受けた 区民の負担の軽減と、区全体の活力向上のための補正予算を可決しました 第39号議案 令和2年度品川区一般会計補正予算

補正額は、歳入歳出とも、149億9,370万3千円を追加し、総額を2,485億475万1千円とするものです。 主な事業をご紹介します。

区民1人につき3万円を給付します!(しながわ活力応援給付金)

【補正額】135億5,000万円

給付額 区民1人につき3万円

中学生以下の方には、1人につき2万円を加算し、5万円

※平成17年4月2日以降に生まれた方が対象。

給付対象者 令和2年4月27日に品川区に住民登録のある方

※ 4月 28 日から 12 月 31 日までに出生したお子さんにも 1 人につき 5 万円を給付します。申請書は別途、郵送します。詳しくは、区ホームページをご覧ください。

申請者給付対象者の属する世帯の世帯主

給付方法 世帯主の方の銀行口座への振り込み

申請方法 郵送申請のみ

※感染対策のため、申請窓口は設けません。

申請期限 令和2年11月10日(火)当日消印有効



3

【議員提出第1号議案】

東急大井町線戸越公園駅付近における鉄道立体化の早期事業化に向けた意見書

東急大井町線戸越公園駅付近には、現在、6ヶ所の踏切が存在しており、平成19年度の急行運転の開始 以来、列車速度の上昇や遮断時間の増加等により踏切の危険性が増大している。さらに、商店街に位置す る駅前の踏切は、多くの歩行者・自転車等が錯綜するなど、かねてより安全性に課題があった。

直近の令和元年7月には、戸越公園駅から中延駅の間で、歩行者が踏切内に立ち入る人身事故が発生しており、過去には死亡事故も発生している。

また、踏切により南北の地域が分断されており、商店街の往来や広域避難場所である戸越公園一帯への避難行動に支障をきたしている。

連続立体交差事業は、多数の踏切を同時に除去することによって、これらの課題を一挙に解消するとともに、交通利便性や防災性の向上など、地域の活性化に資する非常に効果の高い事業である。

そうした中、東京都においては、平成28年3月に戸越公園駅付近を連続立体交差事業の事業候補区間に 位置づけ、鉄道立体化の可能性について調査検討を進めており、その実現に向けて地域住民の期待も高まっている。

また、品川区においても、鉄道立体化の早期実現に向けて、駅周辺の基盤整備及びまちづくり関連の事業を地域住民と一丸となって進めている。

よって、品川区議会は、東京都に対して、東急大井町線戸越公園駅付近における鉄道立体化の早期事業 化に向けた取組みを着実に推進するよう、下記事項を強く要望するものである。

記

- 1 東急大井町線戸越公園駅付近の連続立体交差事業の早期事業化を図ること
- 2 鉄道立体化に合わせた駅周辺の基盤整備及びまちづくり関連の事業推進に必要な支援を講じること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和2年7月8日

品川区議会議長 渡辺 裕一

東京都知事 小池 百合子 様

品川区議会永年在職議員表彰

議員在職 25年表彰



平成7年4月初当選

議長、監査委員、総務委員長、議会運営委員長などを歴任

基づき、表彰されました。これは、永年にわたる議会活動を通じ、地方自治の確立と区政の発展に努めた功績に対して、議会の議決により表彰されたものです。また、全国市議会議長会からも永年にわたる功績に対し、表彰されました。

令和2年4月30日付で在職25年を迎え、品川区議会永年在職議員表彰規定に

第2回定例会の議決結果

全会一致で可決した議案

議案 番号	件名						
39	令和2年度品川区一般会計補正予算						
40	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例						
41	品川区特別区税条例の一部を改正する条例						
43	品川区立児童センター条例の一部を改正する条例および品川区立保育所条例の一部を改正する条例の一部を改正 する条例						
44	品川区放課後児童健全育成事業の設備および運営の基準に関する条例の一部を改正する条例						
45	品川区立在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例						
46	東大井保育園・児童センター改築その他工事請負契約						
47	八潮西保育園大規模改修工事請負契約						
48	第二戸越幹線整備工事(下水道本管立坑整備)請負契約の変更について						
50	浜川小学校校舎・幼稚園園舎改築その他工事請負契約						
51	浜川小学校校舎・幼稚園園舎改築その他機械設備工事請負契約						
52	浜川小学校校舎・幼稚園園舎改築その他電気設備工事請負契約						
53	マイスクール八潮空調設備改修工事請負契約						
54	教育委員会委員の任命同意について (海沼 マリ子 氏)						
55	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(松尾 和英 氏)						

意見の分かれた議案

議案	件名	結果			公明 (7)	共産 (6)	品改(3)	ネット (2)	無所属議員 (50音順)					
番号			(8)	(8)					(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
42	品川区手数料条例の一部を改正する 条例	可決	*	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0
49	第一日野小学校擁壁改修その他工事 請負契約	可決	*	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0
議員提出	東急大井町線戸越公園駅付近における鉄道立体化の早期事業化に向けた 意見書(5ページに意見書を掲載)	可決	*	0	0	×	0	×	0	0	0	0	0	0

○…賛成 ×…反対 (数字)は所属議員数 無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。 ※自民のうち1名は議長の職務を行ったため、議決には加わりませんでした。

●会派名は次の略語で記載しています。

自民……品川区議会自民党 自・無……自民・無所属・子ども未来 公明……品川区議会公明党 共産……日本共産党品川区議団 品改……品川改革連合 ネット……品川・生活者ネットワーク





医師の確保などを都に要望する。

社会経済の回復に向け

答

育成を進めるとともに、

公衆衛生

問

られている。専門職の確保や人材 応するため専門能力の向上が求め り、多様化・複雑化する課題に対

答

歳入減が見込まれるが、

働き方改革「しながわ~く」

な財源措置を国・都に求めるべき。 た施策を実施していくための必要

行宏

議員

品

改

6月25日

<u> 令和2年第2回定例会では、区政全般について、11名</u>の議員が一般質問を行いました。 以下、概要をお知らせします

吉田 こんの 6月26日(金) **启たかひろ** ゆみこ

(ネッ 共 自

自 自

明

症。

終息に4年以上かかるコロナ感染

社会活動を止めずにコ

…品川区議会自民党 自・無……自民・無所属・子ども未来 公明……品川区議会公明党 …日本共産党品川区議団 品改……品川改革連合 ネット……品川・生活者ネットワーク

沫防止パネルを設置し、マスクを外しての発言を可能としました。

疫を持つことですが、自粛しても るか、ワクチンを開発・接種し免 以上が自然感染して集団免疫を得

会派名は次の略語で記載しています。

性を考えると奇跡が起きない限り

2年かかり、さらに有効性、安全 限り感染します。開発には1年 ウイルスが地球上から消滅しない

さらに時短、雇い止め、

解雇が増

及・啓発に努めるべきではありま 動を取るように、区民に対して普 ち向かうために免疫力を高める行 りますので、日頃からコロナに立 いし、重症化するリスクも高くな 下していると感染症にかかりやす を弱めたり殺したりしますが、

スの良い食事、そして規則正し

せ、休業、廃業、倒産が増大し、 粛による行動制限は消費を激減さ 終息には4年以上かかります。自

造 感染症が終息するには国民の6割

ロナと共生する生活を

症から身を守れ

本会議における発言の際はマスクを着用することとしておりましたが、 第2回定例会本会議より、議長席および演壇においてはアクリル製飛

鈴木 真澄 議員 自

民

区が担う役割に応じた財政措置に

効率的な財政運営を図るとともに、

ついて、国や都に働きかける。

問

授業時間の不足分の補てんが児童

生徒に過度な負担となることのな

いように、また心のケアに配慮を。



<mark>lb</mark> 自民党・自無・公明が要望し**新型コロナウイルスに関連して** 自民党・自無・公明が要望した 「しながわ活力応援給付金」の支 答 問 全児童に向けた端末配備を評価す リモート学習を通して授業時間の 心理面のアンケートを行い、 不足を補い、学力の保障に努める。 を把握し個別に対応している。 心のケアは学校再開時、生活面や

実態

答 A-機能を活用した学習システム 引き続き研究開発していく。 の操作方法や効果的な指導方法を の構築に取り組むとともに、機器 課題もある。学習効果、成果を。 るが、ソフトや指導方法の開発の

区民の皆様に活用いただくことが

方の金額は、医療従事者など感染 給は早急な手続きを。申請しない

リスクの高い方の支援に。

大切。申請頂くようPRに努める。

福祉について

区民の安全・安心につながる、

保

健所機能の充実を図るべき。

地域支援事業の充実に向けた取り 組みの進展状況は、

保健所は健康危機管理の拠点であ

医療職と介護職によるブロック会 を今後も活用を促進する。 議を実施。医療介護連携システム

答

第八期介護保険事業計画の施設整 備計画は。 また目標値は。

[その他の質問] 多様なニーズを踏まえ検討 標値を示していきたい。

鈴木

けて、健康を損ねる方やコロナ関 でが精神的・肉体的ストレスを受

とても重要です。今後も引き続き 生活により免疫力を高めることが

周知に努めてまいります。

ました。また子どもから高齢者ま えて失業者や生活困窮者が激増し

自・



品川区の感染症対策について 新型コロナウイルス感染症流行に 対する区の2月から5月の取組は。

保健所、病院、 報の共有化は極めて重要と考える 診療所の連携と情

区が設置し医師会が運営するPC 情報提供が一部に限られていたの な情報共有について協議していく 病院や医師会等とより効果的

陽性者3名。今後、検査可能 いる現状に対 答

答 感染疑いの方の受診調整や患者の 疫学調査等に対応してきた。

区の認識と取組の現状は。

答

6月18日までの20日間で24人検査 R検査センターの実績と今後は。

答 非常に重要と認識しており、パパ 予防接種が低下 ママ応援アプリ、予防接種アプリ な医療機関の増加が想定される。 する危機感と今後の勧奨の方策は

情報モラル教育として、発信者の

意図を読み取り、自分の意見を発

信できる力を育成していく。

間 子宮頸がんの死亡者数は毎年3千 等で引き続きお知らせしていく。 人に上る。HPVワクチン接種費

|答|| 定期接種できなかった対象者への 助成は、今後の検討課題だ。 用の助成を強く要望する。

品川区の子育て支援施策について

人数は。遅れている1歳半健診、

1回の人数を減らし、 回数増等で全ての対象児の法定期 未施行の3歳健診への対応は。 して4か月健診から再開している。 回数を増や

品川区の教育について

間内の受診を実現していく。

造 区の学校現場における感染予防教 育と、実際の感染予防対策は。

答 体育・保健体育の中で学んでいる げる取組を行っている。 別パッキングや換気等、 検温、うがい、手洗い、 3密を下 給食の個

ワイドショーでの発言は明らかな 育と考えるが見解は。 な授業こそメディアリテラシー を減らすことができる。このよう 証を授業として行えば、風評被害 事実誤認等が多い。放送内容の検

自分の免疫力を高めてコロナ感染 答 行動制限は、国の示した新生活様 感染しても有効な治療薬はないの 会経済活動が継続できるよう、 的に緩和されてきた。今後は、 式の定着が必要なことから、段階 力が高くなると、ウイルスの動き 高さに頼るしかありません。免疫 で、治すには患者自身の免疫力の 継続徹底を周知してまいります。 保、マスク着用など、感染対策の 密の回避や、人と人との距離の確 道を選ぶべきではありませんか。 防ぎながら新型コロナと共存する 健康は悪化するので、医療崩壊を れでは社会経済や暮らしは崩壊し 3

低

あくつ



療体制の強化について

新型コロナウイルス感染症の陽性 の経済的支援を求める。 患者を受け入れた区内医療機関へ

答 受け入れた区内3か所の医療機関 医療従事者などエッセンシャルワ について今後支援を検討していく。

心の支援と共に区内ホテルの協力 を得て宿泊制度の準備を求める。

カーへの支援について

||〜|| 医療機関の意見も踏まえ、有効な 支援策を検討していく。

生活・経済への支援について

国の「家賃支援給付金」制度に上 8月上旬に申請、同月中旬に給付 など申請の負担軽減を図っていく。 開始予定であり、手続きの簡素化

乗せする区独自の家賃助成制度の

創設を求める。

答 国や都等の動向を注視しつつ調査 研究していく。

明

30%のプレミアム付区内共通商品 券の周知・広報を求める。

答 給付金の活用と併せて区内での消 費喚起を積極的に広報していく。

問

しあわせ食卓事業の拡充と子ども

事業を検証の上、拡充を検討し、 取組への更なる支援を求める。 食堂によるフードパントリー等の

答 子ども食堂ネットワークと連携し ながら支援を実施していく。

状況の変化を鑑みた羽田空港新飛

行ルートの運用について 国土交通大臣が決定した「固定化 回避のための検討委員会の設置」 への評価を問う。

ン学習環境の早急な整備について **新たな生活様式におけるオンライ** 区が求めてきた取組への第一歩と 捉え、早急に具体的な方策が示さ れるよう引き続き国に求めていく。

保護者らにGーGAスクール構想 並行して「今ある環境」を最大限 に活用した整備を求める。 -CT教育の取組方針を明示し、

やかな申請・給付等を求める。

「しながわ活力応援給付金」の速

答 取組方針を発信するとともに、環 等端末の貸与により対応していく。 境の整わない家庭にはタブレット

あべ 祐美子



間 しながわ活力応援給付金は、基準新型コロナへの備えと今後の区政

答 令和2年12月31日までに生まれた 子どもを特例として給付対象とす も対象にすべき。また世帯単位で なく個人単位での給付の検討を。 日以降一定期間に生まれた子ども

行政でのスマホアプリ活用を。 信・予約システムの導入を。 健所でのICTを活用した情報発 世帯主への給付とする。

る。手続きの簡素化効率化を勘案

答 用を検討する。 LINEの区公式アカウントを取 適切なシステム構築と効果的な活 検討する。保健所のICT活用は 得する予定。今後も様々な活用を

侵合災害について

新型コロナに対応した避難所運営 マニュアルの改訂を。またインク

(無所属) 必要な高齢者・障害者がホテル等 に避難できるよう検討を。 ルーシブ防災の一環として配慮の

の利用は、希望を考慮して個別計 マニュアルを作成中。ホテルなど

ついて 学校ICT化と子どもへの支援に 画に反映する。

の児童生徒の学習にも活用を。 た場合の対応は。不登校や療養中 込みだが、 ーCT端末導入は年明け以降の見 入手までに休校になっ

端末入手前に休校の場合は家庭の 医療・福祉関係者への協力金に続 応じた支援の可能性を研究する。 気療養等については個別の状況に PC等でZoomなどを活用。病 保育士への慰労も検討を。

答 保育従事者への支援は、今後の感 染状況を踏まえ模索する。

今後のまちづくりについて

羽田空港新ルートで新たに始まる るよう働きかけを。また個人住宅 有識者会議に区民の声を反映され への防音工事も国に求めるべき。

有識者会議で早急に具体的な方策 助成拡充が図られている。 防音工事は学校や保育所などへの が示されるよう国に働きかける。

亮

議員

共

産



区民の命、暮らし、営業まもる対 新型コロナ感染症の第2波に備え、

実施と、そのための財政支援を。 カーに定期的なPCR検査等の

国の方針に従って検査を実施して や財政支援の考えはない。 現在のところ定期的な検査

コロナ患者を受け入れている病院 握し国に対し損失補償を求めては。 等について、区として収入減を把

コロナで減便でも羽田新ルートの 用強行とは許せません! 国や都へ要望していく。

ぜ区長は中止を国に求めないのか ひどい騒音や恐怖が広がる中、 羽田新ル ぜ中止を求めないのか。 トについて、区長はな な

答 令和2年5月20日、大臣に宛て、 施について要望を行った。 新ルートを固定化しない取組の実

問 コロナで減便でも本格運用が強行 されたことをどう考えるのか。

答 国は、固定化回避に向けた検討会 を立ち上げるとしている。早急に 続き国に求めていく。 具体的な方策が示されるよう引き

便利なコミュニティバスへ、住民

答 の声を取り入れルート案は改善を 開催予定のワークショップにより、 交通不便とされた地域が全く改善 便利な大井ルート案へと改善を。 されないとの地元住民の声を受け、

祭止」など、区立中学校のブラッ 「下着は白」 「肩より長い髪を下ろすこと 「ツーブロック禁

地域の声の反映に努めていく。

ク校則は見直しを 校則で下着の色を白としているの

答 校則は各学校が様々な意見を集約 ろしたままにすることや、 等について生徒を含め話し合う機 状況や変化を踏まえ、校則の内容 意見を取り入れ校則を見直すべき。 ロックはなぜ禁止なのか。生徒の は何のためか。肩より長い髪を下 自律的に定めている。社会の ツーブ

西村 直子 自 民



地域コミュニティについて

コロナ禍において、街の価値は ティの重要性が顕在化した。区の 見解や現在の取り組みを伺う。 容を余儀なくされ、地域コミュニ 流れが大きく加速し、価値観は変 ドからソフトに転換するという

答 A-や-CTの活用は業務効率化 援策を検討していく。 方、従来の手法にとらわれない支 における地域コミュニティの在り できる業務等を精査し、コロナ禍 の有効な手段の1つであり、活動

子育て支援について

コロナウイルス感染症の流行が アウトリーチ型へと進化を。 の協働を進める仕組み作りを行い 人々の交流を断つ今こそ、住民と

答 子育て支援に関わっている方々の ご意見を聞く等、 地域とのつなが

会を設けていくよう指導している。

りの在り方について検討している。

働き方の変化について れると思うが、 わせて様々に対応の見直しが迫ら かけになった。学校では情勢に合 女性の働き方も大きく変わるきっ 現状や課題は。

| 学校の休業や保育園の休園により のと認識している。この間、子ど 化への一助となればと考えている。 用も想定し、保護者の働き方の変 での連絡や面談など、 配布するタブレットはオンライン 者の就労を支援してきた。児童に もの居場所づくりや就学援助家庭 困難さを実感し危機感を持ったも 担う必要が生じたことは、両立の 働く女性が自宅で子育てと仕事を への昼食費相当分の支給等、保護 家庭での利

不足する介護人材の確保について

|答|| 外国人材の受入れについて今年度 感の払しょく、環境の整備を。 業計画への反映を検討していく。 識をしている。第八期介護保険事 については重要な課題であると意 着手をする予定。事務の負担軽減 はモデルケースとして法人支援に

[その他の質問] 在宅で働く母親の居場所について

協定締結しているホテル・旅館組

合には31施設が加盟している。で

答

を伺い、

当事者にとって利便性の

高いカードとなるよう作製する。

提案を含め障がい者団体のご意見

スの作製を提案する。

を施したストラップ式のカードケ バッグに装着できるヘルプマー 持できるよう、カードを収納でき ヘルプマークとカードを一緒に所

ため協定先の拡充と連携に努める。 きる限り多くの避難先を確保する 先を確保すべき。

テルや旅館等一件でも多くの避難

止対策のために、避難先としてホ

策について

区民避難所におけるコロナ感染防

問

売促進を支援する。

コロナ禍を踏まえた防災・減災対

配置する等、確実に対応していく。 向上させ、必要に応じ応援職員を 蔓延防止に対応。職員の専門性を

答

優先調達品として活用も検討し、

ームページに掲載する等、

販

会貢献活動をアピールすべき。 達品として活用し、障がい者の社 スクを作製している。区が優先調

保健所は、感染症予防法に基づき

の考え方や取組について聞く。 る権限や責務、体制強化について の体制強化が必要。保健所の有す

뗻がい者支援について

いて検討する。

障がい者の授産施設において、マ

吉田 ゆみこ

(ネッ

1

で仕事を失うもしくは失う可能性 **新型コロナウイルス感染症の影響**

- のある被雇用者への支援について 就業相談センターや若者等就業支 ることができた数は? 援事業での相談数、雇用につなげ
- 今年3月から5月で就業センター の相談は56件、就職は4件。 かもの・女性就業相談コーナー での相談が86件、就職が3件、 ャ ゎ
- 答 失業者等への直接支援について、 仕事を失った人への直接の支援に 個別給付等は考えていない。 区として取り組むべき。
- 家族介護は全体の6割、その内子 行う総合相談で本人や家族の状況 育て中の介護者は約1割。在支が とダブルケアラーへの支援は?

ヤングケアラーの具体的支援は? を把握、適切な支援を行っている。

答 本来守るべき子どもの権利を守る 連携、多層的に支援を行う。 童対策地域協議会等子ども部門と という視点で福祉部門と要保護児

答問 区として条例は考えていない。 家族介護者支援は各計画の中で取 組み、今後も当然に推進していく。 ケア者支援条例への区の見解は?

答 改めて国に対して説明を求める。 ことについて説明を求めるべき。 有」ということを急に持ち出した 「首都圏での騒音の共

区として当面の就航需要の減少を は中止すべきと国に求めるべき。 踏まえ都心低空飛行ルートの運用

5月20日区長が大臣宛に一層の騒 化しない取組について要望した。 音軽減策の推進や新ル ートを固定

障害児者総合支援施設の運営につ

本施設は当初に立ち返り共同体に 業は個別に業務委託契約とすべき。 状に合わせ区直営で建物管理、事 よる指定管理者制度の運営か、

ケアラー支援について

介護保険計画のアンケー

・トの結果

答 指定管理期間満了後は、指定管理 体的な管理運営で公募をする予定。 者制度を活用、建物管理を含む一

大倉たかひろ 議員 自・



(各) ガバメントクラウドファンディン グ等の活用を検討をしている。

答

である町会長等に周知している。 ットの預け先確保の事前準備につ いて周知を行うべき。

環境省や都がホー りの相談先を紹介している。

における3密回避の取組は。

新型コロナウイルス感染症対策に



分を分けるなど、区の対応方針は、 感染者や症状のある方等の居住区

環境対策について

夏季休業日の短縮や1日の授業時

校の影響をどのように埋めるのか

数を増やす工夫等で確保していく。

新型コロナウイルスによる臨時休

特性を指導に生かしていく。

今後どのようにして再生可能エネ

ーを普及させていくのか。

区民の待合スペース等、区役所内

等に努めることを明記した。

無 教育について



答 多様な学習コンテンツに対応する

汎用性等を見据え検討しており、

タブレット端末が配備されるが、

機種の選定、配布スケジュールは

ついて 눱 しながわ活力応援給付金の寄附へ

答

児童・生徒の学習履歴が記録され

教育と学習の達成度を共有できる

タブレット端末を今後どのように 年度内に確保できるよう取り組む。

教育に役立てていくのか。

避難所での二次感染回避のため、 の活用について現在の検討状況は

区分して避難スペースや動線を設 ペット飼い主の感染を想定し、ペ けることを、防災区民組織本部長

答 戸籍住民課では、待合スペースの

により混雑解消を図っている。 ンで確認できるシステムの案内等 拡張や、待ち時間をスマ-

トフォ



ムページで預か

|答|| これまで太陽光発電システムの設 スチック削減方針を策定しては。 Cが排出ゼロに向け、 普及のためのPRに努める。 置助成を実施してきた。引き続き スチックの使用削減等、環境保全 品川区もプラ

松本ときひろ 議員 (無所属)

こんの

孝子

議員

公

明

ついて

児童生徒が安全に通学できるよう

-ルネックタオルの配布を提案。

コロナ禍を踏まえた熱中症対策に

答

物品の配布は考えていないが、

康状態に注意を払い、安全な登下

問

今夏は例年以上の対策が必要。予

校に配慮する。

民が具体的に取り組める熱中症対

防の注意喚起を行うとともに、区

策の促進策を検討すべき。



の在り方について 想定した区の会議運営、 **利型コロナウイルス感染第2波を** 在宅勤務

区民の皆さんの経済的負担が少な

く取り組みやすい予防促進策につ

る対策について

第2波への準備のため保健・医療

新型コロナウイルス感染症に関す

┣️ クラスター化防止の観点から、緊 要会議はオンライン会議を原則に 急事態宣言下においては、区の重 しておくべきではないか。

△ 現在の利用効果などを見ながら検 討していく。

ついて 脱印鑑と区民目線の行政手続きに

||6|| 申請書等の押印見直し指針を定め 脱印鑑に向け全庁的な取組が必要 と考えるが、区の見解は。

区民とより積極的なコミュニケー 省 引き続き見直しを進め、署名によ る代替についても取り組んでいく。

ターアカウント開設について ションを図るための区長のツイッ

設されてはいかがか。

答 区長がツイッターにより区民とや り取りすることは考えていない。

学校における熱中症対策について

答 安全な学校生活を送れるよう指導 6 各区立学校に対し、 補給含め校内での児童生徒の水分 補給の方針を示すべきではない 授業中の水分 か

商店街における3密対策、買い物

していく。

困難者支援について

新型コロナ第2波に備え、区が商 が混雑する時間帯を区民に周知す る方法を検討すべきではないか。 店街振興組合等と連携し、商店街

商店街連合会等と連携しながら、 引き続き調査研究していく。 どういった周知方法ができるか、

区施設の混雑状況の見える化につ

造 避難施設の混雑状況をオンライン でリアルタイム配信すべきでは。

答 研究していく。

別養護老人ホーム等の施設入所

者のデジタル面会支援について **間** 施設入所者と家族等との対話の機 会を確保する観点から、デジタル

||答|||各施設で行われている工夫を施設 間で共有をしていく。 面会の支援を検討すべきでは。

11

区長もツイッターアカウントを開

区議会ホームページでは、 本会議・委員会の資料や 会議録などを公開しています

品川区議会 検索

1 区議会の映像

インターネット中継から、本会議の代表・一 般質問等や予算・決算特別委員会総括質疑 の映像をご覧いただけます。

2 区議会の 活動

区議会の活動から、 本会議や委員会の予 定・結果、資料等を

ご覧いただけます。

3 区議会の 会議録

会議録検索から 本会議・委員会の 会議録をご覧いた だけます。



区議会ホームページ トップ画面(パソコン)

▼|| スマホで読める区議会だより デジタルブック配信中

無料アプリ「カタログポケット」をインス トールすると、区議会だよりをスマートフォンやタブレットで簡単に閲覧できます。 ンやタブレットで簡単に閲覧できます。

読みやすい文字で

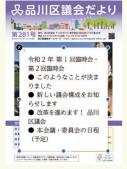
本文をタップすると、文字が大き くポップアップ表示されます。

音声で読み上げ

テキストの読み上げを設定し本文を タップすると、音声で読み上げます。

多言語に対応

10 言語で読む・聞くことができます。



13

特別委員会の活動 4月~7月

4月から7月末までの委員会の 主な活動は次のとおりです。 なお、5月27日の第2回臨時会で 各委員会の委員が改選されました。

行財政改革特別委員会

4月21日 「庁舎のあり方に関すること」および「区有施 設・公有地活用に関すること」をテーマに調 杳•研究。

5月20日 特定事件調査のまとめについて決定。

①区組織と関連団体に関すること

②区内鉄道駅などの公共交通に関すること

5月27日 正副委員長互選。



6月9日

7月1日 「財源確保に関すること」をテーマに、調査

オリンピック・パラリンピック 推進特別委員会

4月22日 特定事件調査(オリンピック・パラリンピック の推進に関することなど)のまとめについて 決定。

> 報告1件(東京2020大会の延期)について 質疑。

5月22日 報告1件(東京2020大会に向けた機運醸 成PR動画)について質疑。

5月27日 正副委員長互選。

6月10日 調査事項概要を確認。

「機運醸成に関するこ 7月2日 と」をテーマに、調 査・研究。



厚生委員会

4月20日 報告3件(西大井福祉園など)について質疑。

5月12日 議案審査 (4件)。

5月19日 報告4件(医療的ケア児地域生活支援促進事 業、新型コロナウイルス感染症の対応など) について質疑。

5月27日 正副委員長互選。

各所管の事務事業概要を 6月8日 確認。

6月29日 議案審査 (2件)、請願・陳情審査 (7件)。

6月30日 報告7件(新型コロナウイルス感染症に係る 保健所・保健センターの対応など) について

建設委員会

4月20日 報告9件(特定空家等の認定など)について質 疑。

5月19日 報告8件(新型コロナウイルス感染症の対応、 都営住宅入居者募集など)について質疑。

5月27日 正副委員長互選。

各所管の事務事業概要を確認。 6月8日 報告1件(羽田空港の機能強化に関する要望) について質疑。

6月29日 議案審査 (1件)、請願・陳情審査 (12件)。 報告1件(羽田新経路の固定化回避に係る技 術的方策検討会の開催)について質疑。

6月30日 報告9件(区営住宅入居者募集、木造住宅の 耐震診断助成額の変更など) について質疑。

総務委員会

4月20日 報告 4件(長期基本計画の策定など)について 質疑。

常任委員会の活動

4月~7月

4月から7月末までの委員会の

主な活動は次のとおりです。

なお、5月27日の第2回臨時会で

各委員会の委員が改選されました。

5月12日 議案審査 (1件)。

5月19日 報告7件(新型コロナウイルス感染症の対応 など) について質疑。

5月27日 正副委員長互選。

各所管の事務事業概要を確認。 6月8日 報告1件(新型コロナウイルス感染症の対応) について質疑。

6月29日 議案審査(10件)、請願・陳情審査(2件)。 報告1件(令和元年度品川区一般会計予算繰 越明許費繰越計算書)について質疑。

6月30日 議案審査(1件)、報告2件(総合庁舎免震 オイルダンパー交換など) について質疑。

文教委員会

4月20日 報告3件(学級編制など)について質疑。

5月12日 議案審査(1件)。

5月19日 報告5件(新型コロナウイルス感染症に係る 区立学校の対応と今後の教育活動の予定、子 どもの食の支援事業など) について質疑。

5月27日 正副委員長互選。

各所管の事務事業概要 6月8日 を確認。

6月29日 議案審査 (3件)。

報告1件(専決処分の報告)について質疑。

6月30日 報告5件(学校改築の進捗など)について質疑。

区民委員会

4月20日 報告3件(新型コロナウイルス感染症の対応 など)について質疑。

5月12日 議案審査(2件)。

5月19日 報告2件(通知カード廃止に伴う事務の変更、 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う中小 企業支援策等の実施状

況) について質疑。

5月27日 正副委員長互選。

各所管の事務事業概要 6月8日 を確認。

6月29日 議案審査(2件)。

6月30日 報告1件(令和2年国勢調査)について質疑。

12

込品川区議会だより

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結果
	羽田新飛行ルートの本格実施飛行の中止を、品川区から国交省に求めてくださいの陳情	令和2年 陳情第21号	継続審査
	令和2年3月29日以降の「羽田新ルート」運用について「都心上空飛行ルート」 の「海ルート」への変更を求めることについての陳情	令和2年 陳情第22号	継続審査
建設委員会	羽田増便による新飛行ルートの説明会に関する陳情	令和2年 陳情第25号	継続審査
建议安 莫云	羽田空港国際線増便の目的消失による、新飛行経路の都心低空飛行停止を国に 望む陳情	令和2年 陳情第28号	継続審査
	コミュニティバス 3 ルートを繋ぎ、どこからでも区役所に行けるよう改善を求 める陳情	令和2年 陳情第32号	不採択
	豊町児童遊園に関する陳情	令和2年 陳情第33号	不採択

採択: 区議会として、ご希望に賛同します。不採択: 区議会として、ご希望に賛同しかねます。

趣旨採択:区議会として、ご希望の趣旨に賛同します。 継続審査:区議会として、引き続き慎重に審査します。 (※は7月8日の本会議最終日に付託されました)

採択し、区長に報告を求めた請願・陳情について

本会議で採択し、区長に報告を求めた請願・陳情の処理経過および結果について、議長あてに報告がありましたので、次のとおりお伝えします。

品川区私立幼稚園保護者負担教育費の軽減に関する請願

1. 入園料補助金の更なる増額の要請

入園料補助金は、保護者の負担軽減、公私格差の是正のため、設けられた制度であり、社会状況を鑑みながら、補助金制度の維持に向けて努力してまいりました。

ご要望いただきました補助金を含め、今後も様々な支援を検討してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

2. 私立振興費助成金・保護者教職員連合会への助成を含めた増額の要請

私立幼稚園の経営の安定化を図ることを目的とした私立幼稚園への直接助成金は、区の財政状況を勘案しながら、実態に沿うよう制度の見直しに努めてまいりました。

現在では、振興費補助金のほか、園児健康管理費増進費、心身障害児教育事業費、防災安全対策費、 インフルエンザ予防接種費、衛生管理費について、それぞれ補助を行っております。

次に、保護者教職員連合会への助成ですが、区は私立幼稚園協会に対し、550万円の補助をしており、 そのうち、保護者教職員連合会が実施する研修や講演会等において、会場費や講演料などにあてられています。

今後も、私立幼稚園の状況を見極めながら、必要な支援を継続してまいります。

請願・陳情とは

区議会では、区政についての皆さんのご要望やご意見を、請願や陳情としてお受けしています。 本会議で採択した請願や陳情は、区長や教育委員会などの執行機関に送り、その実現に努力するよう求めます。

15

請願・陳情の結果 今和2年第2回定例会

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、結果をお知らせします。 請願・陳情についての議事内容等は、各付託委員会の会議録から確認できます。 (会議録は品川区議会ホームページ等からご覧になれます)



付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結 果
公 数壬巳 人	政府に消費税減税を求める意見書提出に関する請願	令和2年 請願第6号	不採択
総務委員会	庁舎建て替えを住民参加で進め情報公開することを求める陳情	令和2年 陳情第20号	不採択
区民委員会	選択的夫婦別姓制度の国会審議を求める意見書を国に提出することを要望する 請願	令和元年 請願第21号	継続審査
	特養ホームや障害者施設の増設を求める請願	令和2年 請願第5号	不採択
	南品川6-7-18の土地のホテル計画に関する陳情	令和元年 陳情第35号	継続審査
	高齢者への補聴器購入費用の助成を求める陳情	令和元年 陳情第43号	継続審査
厚生委員会	コロナウィルスが猛威を奮っているといわれているさなか「住居 特に食事」などに困難を来している多くの貧困下にある子どもたち、外国人労働者 野宿者らが安心してこの「危機」をのりきれるような緊急の行政的措置を講ずるよう求めることについての陳情	令和2年 陳情第23号	不採択
存工女 貝公	不要不急の「特定整備路線事業計画」を中止しその財源を新型コロナウイルス 対策に活用するよう東京都に要請を求める陳情	令和2年 陳情第27号	不採択
	地域や宿泊者にとって、安心・安全なホテル運営ができる制度への改善を求める陳情	令和2年 陳情第29号	継続審査
	「品川区障害福祉計画・障害児福祉計画策定委員会」等の委員委嘱・公募および 開催に関する陳情	令和2年 陳情第30号	不採択
	 「医療的ケア児等支援体制協議会」の委員委嘱に関する陳情 	令和2年 陳情第31号	不採択
	羽田増便による新都心飛行ルートの中止・撤回に関する請願	令和2年 請願第3号	継続審査
	品川区議会から東京都へ、東急大井町線戸越公園駅付近における鉄道立体化の 早期事業化に向けた意見書提出を求める請願	令和2年 請願第4号	採択
	「(仮称) 豊町1丁目計画 新築工事」に関する請願	令和2年 請願第8号	継続審査※
建設委員会	羽田増便による新飛行ルートの「教室型説明会」を引き続き開催することに関 する陳情	令和元年 陳情第17号	継続審査
	羽田増便による新飛行ルートの<教室型説明会>を引き続き開催することに関する陳情	令和元年 陳情第34号	継続審査
	区議会決議を尊重して国交省に撤回を求めるよう区長に求める陳情	令和元年 陳情第37号	継続審査
	羽田新飛行ルート実施延期と説明会開催に関する陳情	令和2年 陳情第19号	継続審査

14

本会議・委員会の日程 (予定)

令和2年第3回定例会本会議の会期は9月17日から10月22日までの36日間の会期で開催される予定です。

	会議	名	開催日時					
	本会訓	ž	9月17日(木)午後 1時 9月18日(金)午前10時 10月22日(木)午後 1時					
	松	務						
党	Σ	区民						
常任委員会	厚	生	9月23日(水)午前10時 9月24日(木)午前10時					
会	廷	設	373212(47) 1 1131 2 133					
	Ż	て 教						
	議会運営	委員会	9月16日(水)午前10時30分 10月21日(水)午前10時30分					
	行則	拉 改革	9月25日(金)午前10時					
特 別	オリンピック・ パラリンピック推進		9月28日(月)午前10時					
特別委員会	決算※	款別審査	10月2日(金)・5日(月)・6日(火)・9日(金) 12日(月)・13日(火) 各日とも午前10時					
	総括質疑		10月16日(金)午前10時					

ケーブルテレビ 放送予定

本会議の一般質問、決算特別委員会の総括質疑の様子は、ケーブルテレビ品川の「品川区民チャンネル」で放送予定です。

放送予定日は以下のとおりです。

- 放送予定日
- ・本会議(一般質問) 9月21日(月)~9月25日(金) (再放送) 9月26日(土)・9月27日(日)
- ·決算特別委員会総括質疑 10月23日(金)

(再放送) 10月25日(日)

- ※決算特別委員会の款別審査では、決算を分野ごとに審査します。最終日の総括質疑では、款別審査の内容等をふまえ、 総合的に質疑を行います。
- ●新型コロナウイルス感染症対策のため、議会を傍聴できる人数を制限しています。くわしくは区議会事務局までお問い 合わせください。
- ●本会議は区議会ホームページでインターネット生中継をしています。また、インターネット録画中継も、本会議終了後おおむね1週間後、決算特別委員会の総括質疑は終了後おおむね2週間後にご覧いただけます。

区議会だよりは、 11名の区議会議員で構成する 「広報会議」が編集をしています

品川区議会では、より多くの区民の皆様 に議会活動に親しみをもっていただけるよ う、議会改革に取り組んでいます。

今後も、「読みやすい、親しみやすい、わかりやすい」区議会だよりになるよう、検討を進め、さらに工夫を重ねてまいります。 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

品川区議会 広報会議

区議会だよりに掲載する写真を募集しています

広報会議では、「区議会だよりについて、より多くの方にご 興味を持っていただきたい」との思いから、表紙写真を募集 しております。ご応募いただいた中から選ばれた1枚を表紙 に掲載しています。ご応募いただいた皆様、素晴らしいお写 真をありがとうございました。

引き続き、区議会だよりに掲載する写真の募集を行います ので、ぜひご応募ください。

【応募資格】区内在住・在勤・在学の方 【募集作品】品川区内で撮影したデジタル写真

品川区の魅力を PR できるような写真をお待ちしております。 ※応募規定など、詳細は区議会ホームページでのご案内をご覧ください。

【問い合わせ先】

調査係 電話: 03-5742-6810 Fax: 03-5742-6895



写真の掲載については確認済ですが、無断転載・転用は固くお断りします。 ユニバーサルデザインに配慮した書体・配色を使用しています。

